

令和2年「バスの日」イベント

交通事業者が一丸となって「3密」の不安を払拭

～新型コロナウイルス感染症予防対策を実演により安全・安心をアピール～

新型コロナウイルス感染症の拡大により、バスやタクシーの利用は激減し、経営に大きな影響を与えています。石川県バス協会では、石川運輸支局と連携して、バス、タクシー事業者が取り組む感染症予防対策を紹介する「バス・タクシーの感染症対策いろいろ&モニターツアー」を開催しました。

旅行会社の担当者をはじめ学校関係者、報道関係者を対象に、感染症予防対策を実演により紹介し、安心してご利用いただけることをアピールする場として設けたもので、参加者は全体で100名を超えました。



宮岸会長の挨拶



会場の様子



【開催概要】

- 日 時 令和2年9月20日（日）
感染症予防対策体験 10:00～11:00
モニターツアー 11:00～15:00

- 場 所 石川運輸支局 駐車場

■ 体験内容

バス、タクシーにおける「新型コロナウイルス対応ガイドライン」の感染症予防対策

○営業所における感染症予防対策実演（模擬点呼）

○バス、タクシーの消毒等感染症予防対策実演

○バス車内の換気性能実演

○モニターツアーによるバス運行時等の感染症予防対策の体験及び施設視察

（訪問先：白山比咩神社（終息祈願）、金沢港クルーズターミナル（施設視察ほか））

- 主 催 石川運輸支局、（公社）石川県バス協会



梁取支局長の挨拶

感染症予防対策の実演では、バス乗務員の体温チェックを含む健康状態を確認するなどの出発前の点呼について、説明を交えて実演。また、車内の消毒・清掃は、手すり等、特に利用者が頻りに手を触れる箇所を入念行っていることを説明して、運転席周りやその他車内を清拭消毒する作業を実演しました。

利用者が特に気になっているのはバス車内の換気です。その換気性能を見てもらうため、窓を閉め切った車内に白い煙を充満させて実演を行いました。およそ5分で煙は外へ排出されました。参加者からは、実際に自分の目で空気が入れ替わっていることを確認できたことで、「バスは対策が十分にとられている。お客様に安心であることを伝え不安を払拭していきたい。」との声も聞かれ、「バス車内は密で危険では？」との疑問に応えるものとなりました。



出発前点呼の実演



バス車内の消毒実演



バス車内の換気性能実演



池田副会長の挨拶

感染症予防対策の実演終了後は、モニターツアー（MT）を行い、白山比咩神社（しらやまひめじんじゃ）でコロナの終息祈願をした後、この春オープンした金沢港クルーズターミナルを巡り、施設内の感染症予防対策などを視察しました。今年は残念ながら、1本も寄港がなかったクルーズ船ですが、実際にお客様を迎えるときに備えて、ツアー客の動線やバス車両の待機位置などがイメージできました。



MT バス車内の様子



MT 白山比咩神社



MT 金沢港クルーズターミナル

このイベントは、当日のニュースでも大きく取り上げられ、一般の方々に向けても安全性や安心感をアピールすることができたように感じています。イベントをきっかけに、一刻も早い需要の回復につながればと考えています。